

丹後に古代王国



赤坂集落から見上げる位置にあります

ガラス製の豪華な装飾品が多数出土

赤坂今井古墳

赤坂今井墳墓は弥生時代後期末（2世紀末～3世紀初め）の大型方形墳丘墓です。平成10年に道路拡幅のため、中世の山城と思われるものを試掘調査したところ、墳丘墓であることが判明し、二次調査で国内最大級ということが確認されました。

平成10～15年に行われた発掘調査で、第一主体部に続き二番目に大きい第四主体部から、ガラ

ス製の玉類の頭飾りや耳飾りが、当時の管理状況のまま出土しました。この発見は国内でも類例がなく、当時の埋葬方法を知る手がかりとして大きな注目を集めています。

このことから、大陸との交流が盛んであったことがうかがえるとともに、規模や埋葬施設などから、当時の北近畿を代表する「王墓」と考えられます。平成19年には国指定史跡となりました。

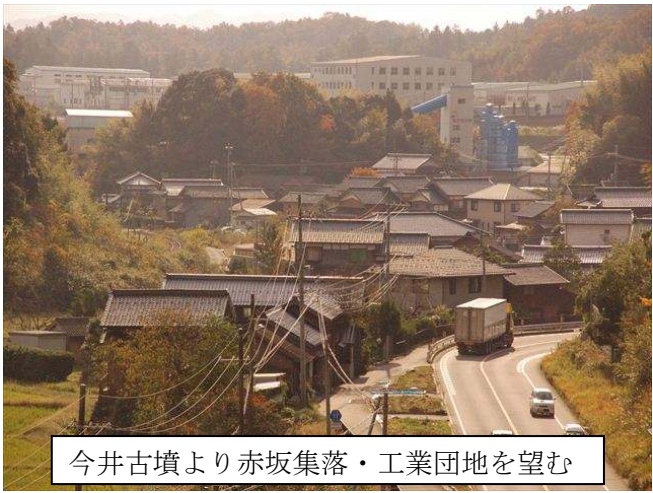
トトロを探そう



取材途中で偶然見つけた「トトロ」にそっくりな木。赤坂のランドマークにしてはいかがでしょうか？

場所はヒミツ。小さな集落なので歩き回ればきつと見つかりますよ。

探してみてくださいね。



今井古墳より赤坂集落・工業団地を望む

峰山町赤坂区は、峰山町の北よりに位置します。

集落内を南北に、府道17号峰山網野線と北近畿タンゴ鉄道宮津線が走る、

躍動感あふれる赤坂区です。

平成5年に、市が造成した赤坂工業団地が完成してからは、昼間の就労人口は飛躍的に増加しました。

古代ロマンと先進工業団地が同居する赤坂区

人口159人
世帯数55
(平成24年
10月1日現在)

ふるさと わがまち わが地域

峰山町 赤坂区

地区を見守る「昨岡神社」

もともとこの神社は、久次昨石嶽（ひさつぎくいいしだけ）の頂上（一説に麓）に祀っていたものを、応仁の頃（一四六六）一色義直の武臣、飯田越前が神領や神殿が荒れていくのを惜しんで、昨石から吉原城の麓に遷したとされています。

久次嶽の頂にあった二間四面の平らな大岩があり、その岩の面に人の死んだ顔があるのを、宇氣持神（うけもちがみ）の死んだお姿であるとして、この霊石を御神体としておまつりしたそうです。



手入れの行き届いた境内

そして、京極氏の入国により社と付近の家が、元和八年（一六二二）十月赤坂村に移されました。

区民からは「くいおかさん」として親しまれ大切にされているこの神社は、常に掃除が行き届いたとても気持ちの良い場所です。

昨年度は、手洗い用の水道と拝殿への水路が整備され、本年度は石段に手すりが設置されました。

「くいおかさん」はますます区民の憩いの場としての存在感を高めています。



区民の楽しいレクリエーション風景

赤坂区民にとって長年の願いであった地区集会所（公民館）の新築。

多くの区民の皆さんに多大の援助をいただき、市のパートナーシップ推進プロジェクト構想で地域集会施設整備補助金を活用して建てられました。

そして、平成19年10月にめでたく竣工を迎えました。

ゆとりのある広々とした間取りで、使い勝手は良く、区の会合やレクリエーションをはじめさまざまな行事に活用され、赤坂工業団地に入る企業の健康診断会場にも利用されています。

区民の願い 地区集会所（公民館）を新築

